

2年目の電子図書館

附属図書館 学術情報係 木村 伸子

kimuran@cc.saga-u.ac.jp

平成 13 年 3 月に稼動公開した「とんぼの眼 - 佐賀大学電子図書館システム -」は、2 年目に入りました。2 年目の作業の概要についてご報告します。平成 13 年度の作業は、「データの収集・蓄積」及び、データ収集に伴う「著作権処理」が中心となりました。

1 貴重書データベース

(1) 画像作成状況

貴重書コレクションのページには、当大学所蔵の『小城鍋島文庫』資料から、毎年数点選択して、画像を公開することになっています。平成 12 年度は、『立場附』(たてばづけ)、『葉隠』(はがくれ)、『津島日記』(つしまにつき)の 3 点を選択しました。さらに、津島日記の関連書である『対礼余藻』(たいれいよそう)、『唱酬筆語並詩稿』(しょうしゅうひつごならびにしこう)も加え、合計 5 点を画像化し、公開しました。

平成 13 年度以降は、国書、漢籍、藩政史料の中から、それぞれ貴重であると判断されるものから、予算の範囲内で、順次画像化することとしました。13 年度の画像化対象となったのは以下の資料です。

国書 『八重一重』(やえひとえ)

漢籍 『孟子通』(もうしつう)

藩政史料 『日記目録』

画像化の手法では、平成 12 年度は試行という意味もあって、資料によって次の 2 通りの方法を使い分けました。ひとつは、デジタルカメラ撮影から、保存用の TIFF ファイルを作成し、それをもとに閲覧用の JPEG ファイルを作成する方法。もうひとつは、

カラーマイクロ撮影をしたフィルムから、TIFF ファイルに変換し、さらに JPEG ファイルに変換するという方法です。

後者の、カラーマイクロフィルムを使う方法は、情報量が多く、保存という点からも優れています。今回は、この方法で画像化することにしました。

(2) データ登録状況

貴重書データベースには、『小城鍋島文庫』の全資料の書誌データを登録する予定ですが、公開時の貴重書データベースの登録レコード件数は、わずかに 3 件でした。貴重書コレクションのページに公開した、『立場附』、『葉隠』、『津島日記』の 3 点についての詳細な目録です。

書誌データの登録については、古典籍に関する専門知識が必要となります。まず、印刷体で刊行された目録を基にして、データを登録するということを検討しました。

小城鍋島文庫の目録は、『小城鍋島文庫目録』が昭和 37 年に、『小城鍋島文庫目録続』が昭和 39 年に刊行されました。さらにこれら正・続を統合し、索引を付したものが『小城鍋島文庫目録』として昭和 50 年に刊行されています。しかし、これらの目録は、内容の不備な点や誤りがあり、データ登録以前に改訂作業が必要と判断されました。

他方、小城鍋島文庫には、上記目録収録分以外に、未整理分として資料が残されていました。この資料に対し、平成 11・12 年度の 2 年にわたって整理作業が行われ、目録が作成されていました。この目録は、電子媒体で作成されていたので、貴重書データベースに一括登録を行うことができました。現在、この書誌レコード 3,567 件が登録されています。

中核資料群の目録である、昭和 50 年刊行版『小城鍋島文庫目録』の改訂作業と、データベースへの登録が今後の課題です。

2 博士論文データベース

(1) 書誌データ登録状況

佐賀大学では、博士課程として工学系研究科が設置されており、また、鹿児島大学大学院連合農学研究科の連合講座が開講されています。

当大学において博士号が授与された論文は、すべて製本した形態で附属図書館に所蔵しています。博士論文データベースには、これら博士論文を登録します。

データベースには、論文関連情報(「論文タイトル」、「論文タイトルのヨミ」、「著者名」、「著者名ヨミ」、「本文の言語」、「刊行年」、「研究科名」、「学位名」などの文字情報)及び、本文情報(画像:PDF ファイル)を登録する仕組みになっています。

論文関連情報の登録については、附属図書館所蔵の博士論文をもとに登録を開始しました。工学系研究科については全件登録が終了し、鹿児島大学連合農学研究科分については登録中です。現在 253 件のレコードが登録されています。

本文情報については、一部の平成 12 年度学位取得者のご協力を得て、試験的に 5 件を登録し、公開中です。

(2) データ収集計画

博士論文の本文情報の本格的な収集・登録は、平成 13 年度以降提出される論文からスタートし、それより以前の、すでに製本の形態で提出されている論文は、対象としないことにしました。

その理由は、2 つあります。ひとつは、著作権処理上の問題です。本文情報をネットワーク上で公開するには、著作権者の承諾を得る必要があります。過去に提出された論文の著者に連絡をとって、承諾を得るという手続きは、非常に時間のかかる作業です。また、帰国した留学生から承諾を得

るのは容易ではありません。学位取得予定者が、論文を提出する時点で著作権処理を行うのが効率的です。

もうひとつの理由は、画像の品質や処理手順の問題です。論文は、原稿を紙に印字したものを製本した形態で提出されます。その製本された論文を画像化するには、1 ページごとにスキャナで読み取る必要があります。スキャナで読み取って画像化した場合、ファイルサイズが大変大きくなります。ファイルサイズが大きいと、画像表示に大変時間がかかり、ネットワーク上で提供するのは適切ではありません。サイズを小さくすると解像度が下がり、画質が悪すぎて本文を読むことができません。また、1 ページごとにスキャナで読み取る作業も大変時間がかかります。

最近の原稿は、ほとんどがワープロなどの電子機器で作成されます。論文提出時に、本文情報をワープロのファイルで提出していただき、それを電子図書館公開用に加工する方が、画質も良好で、ファイルサイズもそれほど大きくなりません。加工に要する時間もあまりかかりません。この方法が、画像の品質・処理手順の両面で優れていると判断しました。

現在、学位取得予定者に、「博士論文情報提出のお願い」(資料 1)、「データベース化承諾書」(資料 2)、「博士論文情報記入用紙」(資料 3)をお渡しし、ご協力をお願いしています。

3 雑誌論文データベース

(1) 書誌データ登録状況

佐賀大学では、各学部、学科、全学共同利用施設などから、さまざまな学術刊行物が刊行されています。(表 1)

雑誌論文データベースは、これらに掲載されている論文を登録します。博士論文データベースと同じく、雑誌論文データベースには、論文関連情報(「論文タイトル」、「論文タイトルのヨミ」、「著者名」、「著者名ヨミ」、「本文の言語」、「刊行年」、「掲載

雑誌名、「巻号」、「掲載ページ」などの文字情報)及び、本文情報(画像:PDFファイル)を登録する仕組みになっています。

附属図書館では、「とんぼの眼」稼動以前から、国立情報学研究所の事業に協力して、学内紀要類に掲載された論文の目次速報データベース作成に協力してきました。論文関連情報は、そのデータ及び、附属図書館所蔵の学内刊行物をもとに登録を開始しました。ただし、現在登録件数はあまり増加していません。計画的に登録レコードを蓄積して行く必要があります。

(2) データ収集計画

雑誌論文の本文情報についても、博士論文と同様に、本格的な収集・登録は、平成13年度以降刊行される論文からスタートし、それより以前の、すでに出版物されている論文は、対象としないことにしました。博士論文データベースと同様、著作権処理の問題と、本文情報の画像化の問題が、その理由です。

まずは、各学部及び、全学共同利用施設より刊行されている刊行物を対象に、各編集委員会に、雑誌論文のデータベース化について協力を依頼しました。博士論文と同様、「データベース化承諾書」、及び「論文情報一覧」(エクセルファイル)をお渡ししています。

4 その他のデータベース開発

上記データベース以外に、学内の学術情報のオンライン化を推進するために、学内からのデータベース開発に関する公募を行うこととしました。学内には、既にデータベース化されて公開されている学術情報もありますが、それ以外に、様々な形態で蓄積されていて、データベース化されて有効活用されるのを待っているものも多数あると思われます。「とんぼの眼」プロジェクトの一環として、これらのデータベース化を支援します。

公募の結果、学内より応募されたいくつ

かの候補の中から、平成13年度については、農学部に蓄積されている植物遺伝資源について、データベースの開発を行うこととし、作業を進めているところです。

5 著作権処理について

博士論文データベース及び、雑誌論文データベースの項で言及しているように、電子図書館で提供するコンテンツに関しては、著作権上の問題が必ず関わってきます。電子図書館に限らず、ネットワークを利用して教育・研究を行っている大学にとって、この問題は、大変重要で、しかも難しいものです。また、技術的な進歩や社会の現状に、法律の整備がなかなか追いついていないという状況があります。

他の電子的なコンテンツを公開している図書館等においても、著作権処理は様々で対応に差がありますが、いくつかの大学図書館では、次のような処理を行っています。著作権者の当該著作物の利用について、著作権者と、著作権管理者(この場合、電子図書館システムで著作権を保有・管理する主体)との間で、一定の利用条件及び責任の範囲等を明確にした利用許諾の合意を、文書によって確認するというものです。当電子図書館でも、その方式を採っています。資料2として掲載している「データベース化承諾書」がこれにあたるわけですが、内容的に見て、著作権処理の問題が完全に解決できているわけではありません。

学内に、著作権上の問題を議論する場が必要と判断し、平成13年12月に、「著作権ワーキンググループ」をスタートさせました。

このワーキングで、「データベース化承諾書」の、著作権保有・管理の責任の範囲を検討するとともに、今後、著作権に関する様々な議論を深めていきたいと考えています。

学位取得者各位

博士論文情報提出のお願い

附属図書館長

平素は附属図書館をご利用頂き、誠にありがとうございます。

さて、附属図書館及び学術情報処理センターでは、学内で生産される学術情報をデータベース化して学内外に発信する、佐賀大学電子図書館システム「とんぼの眼」を構築・運営しているところです。「とんぼの眼」では、蔵書目録、貴重書、シラバス、研究成果、紀要論文などのデータベース化を進めていますが、博士論文についても、博士論文データベースとして、書誌及び本文情報を公開する計画です。

つきましては、このたび学位を取得された方々に、論文の本文および書誌情報を提供頂きたい、お願いいたしております。

論文の内容をコンピュータに蓄積し、ネットワークを介して提供するためには、著作権者の承諾が必要です。なにとぞ主旨をご理解のうえ、承諾頂き、下記の手続にご協力頂きますようお願い申し上げます。

なお、この承諾は任意であり、強制ではありませんので申し添えます。

記

論文の最終稿を提出される際に、以下を学務部大学院係にご提出ください。

別添「データベース化承諾書」(自筆でご記入ください。)

別添「博士論文情報記入用紙」(各項目をご記入ください。)

論文のデジタルファイル

ファイル形式 Word または PDF

提出媒体 MO または CD-R

この件に関する連絡先：附属図書館 学術情報係

TEL 28-8904 (内線 8904)

E-Mail: gakujou@cc.saga-u.ac.jp

データベース化承諾書

佐賀大学附属図書館長 殿

平成 年 月 日

住所：

氏名：

下記論文の内容を、佐賀大学電子図書館「とんぼの眼」博士論文データベースとしてデータベース化し、下記のとおり利用されることを承諾します。

記

1. 論文名

2. 承諾の内容

- (1) 附属図書館が、論文の内容を、ファイル変換によりデジタル化して、ハードディスク、CD-R、磁気テープなどに蓄積することにより、佐賀大学電子図書館「とんぼの眼」の博士論文データベース（以下「博士論文データベース」という）を作成すること。
- (2) 附属図書館が、論文から必要な検索情報（書誌情報、目次情報、本文情報）を作成し、博士論文データベースに蓄積し、検索に利用すること。
- (3) 学内外の利用者が、インターネットなどの広域ネットワークを経由して、博士論文データベースを検索し、本文の閲覧及び複製（プリントアウト及びダウンロード）を行うこと。

3. 承諾の条件

- (1) 著者は、論文の著作権を保持すること。
- (2) 附属図書館は、論文の論題その他内容の改変を行わないこと。
- (3) 附属図書館は、論文の著者名及び著作権を明示すること。
- (4) 附属図書館は、利用者による論文データの複製（プリントアウト及びダウンロード）について、調査・研究・教育又は学習を目的とする場合に限定することを明示すること。
- (5) 附属図書館は、利用者が論文を利用する場合に遵守すべき以下の事項を明示すること。
 - 利用者は、論文の引用に際して、著作者名・情報源を明示すること。
 - 利用者は、論文の論題その他内容の改変を行わないこと。
 - 利用者は、その他著作権法に違反した利用を行わないこと。
- (6) 著者は、データベース化された論文の利用に際し不都合が生じた場合、承諾の取り消しができること。

博士論文情報記入用紙

下記項目をご記入ください。

年 月 日

学科名	(必須。いずれかにチェックを入れてください。) 工学系研究科(エネルギー物質化学専攻) 工学系研究科(システム生産科学専攻) 連合農学研究科 論文提出
氏名	(必須)
氏名(ヨミ)	(日本人の場合必須)
学位名	(必須)
論文名(和文)	(論文名が和文のみの場合必須。論文名が和文・欧文どちらもある場合はどちらもご記入ください。)
論文名ヨミ	(和文論文名がある場合は必須。)
論文名(欧文)	(論文名が欧文のみの場合必須。論文名が和文・欧文どちらもある場合はどちらもご記入ください。)
本文の言語	(必須。いずれかにチェックを入れてください。) 日本語 英語
要約	(この項目の入力は任意です。できればご記入ください。日本語は 1000 文字まで、英語は 2000 文字まで。 欄が足りないときは別の用紙にお書きください。)
キーワード	(この項目の入力は任意です。できればご記入ください。日本語は 128 文字まで、英語は 256 文字まで。 欄が足りないときは別の用紙にお書きください。)

表 1

学内刊行物の状況

* 学内刊行物のうち附属図書館目録データベースに登録しているもの

タイトル	刊行主体
研究論文集	文化教育学部
佐賀大國文	文化教育学部国語国文学会
音楽と教育	教育学部
教育実践研究指導センター紀要	文化教育学部附属教育実践指導センター
佐賀大学教育学部附属中学校研究紀要	教育学部附属中学校
佐賀大学経済論集	佐賀大学経済学会
地域経済研究センター年報	経済学部地域経済研究センター
佐賀大学理工学部集報	理工学部
佐賀大学理工学部集報. 数学	理工学部
ScienTech	理工学部
OTEC	理工学部附属海洋熱エネルギー変換実験施設
佐賀大学農学部彙報	農学部
佐賀大学農学部農場報告	農学部附属農場
低平地研究	低平地防災研究センター
Lowland Technology International	International Association of Lowland Technology
Joint research report	Joint Research and Development Center
海と台地	海浜台地生物生産研究センター